



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社カナミックネットワーク
コード番号 3939 URL http://www.kanamic.net/
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）山本 拓真
問合せ先責任者（役職名）管理部部長（氏名）若林 賢也（TEL）03-5798-3955（代表）
四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成30年9月期第1四半期の業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	348	20.0	102	71.1	102	71.6	67	78.5
29年9月期第1四半期	290	—	59	—	59	—	37	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	8.43	—
29年9月期第1四半期	5.00	4.73

- （注）1. 平成28年9月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成29年9月期第1四半期の業績の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は平成28年11月1日付で普通株式1株を2株、平成29年8月1日付で普通株式1株を3株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	1,252	983	78.6
29年9月期	1,298	956	73.6

（参考）自己資本 30年9月期第1四半期 983百万円 29年9月期 956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期（予想）	—	0.00	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	730	15.8	180	5.5	150	△12.0	100	△6.5	12.47
通期	1,500	16.1	360	9.0	332	0.4	230	3.0	28.67

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期1Q	8,022,000株	29年9月期	8,022,000株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	165株	29年9月期	111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期1Q	8,021,869株	29年9月期1Q	7,572,000株

(注) 当社は平成28年11月1日付で普通株式1株を2株、平成29年8月1日付で普通株式1株を3株の割合で株式分割を行っておりますが、平成29年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を記載しております

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、好調な世界経済と政府による経済政策などを背景に、企業業績や雇用及び所得環境の改善傾向が継続しており、景気は緩やかな回復を続けております。一方で、国際情勢の緊張不安等、国外の政治動向に対する懸念により景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社を取り巻く環境におきましては、超高齢社会の到来に伴い、介護費、介護保険サービス利用者数及びサービス提供事業者数は増加し、介護事業全体の底上げが続いております。平成27年度の介護保険制度改正では、地域包括ケアシステムの構築と費用負担の公平化への対応の観点から、在宅医療・介護の連携推進を平成30年4月には全ての市区町村で実施することが明記されるなど地域支援事業の充実が求められるとともに、介護事業者についてはより効率的なサービスの提供が求められ、また、介護サービス利用者については、自己負担額の増加といった対応が求められております。

このような状況のもと、当社は、医療・介護をつなぐ地域包括ケアを実現するシステムを提供していることから、各省庁との共同プロジェクトに参加し、国の政策と同じ方向性をもつシステム開発会社となるよう努めるとともに、介護保険制度改正に対応する準備を整え、継続して適時にシステム改修を行い、システム利用者の負担軽減により、ユーザーの利便性の向上を図っております。その結果、当社が総務省の「IoTサービス創出支援事業」委託先に選定され、同事業の実証実験を通じて「カナミッククラウドサービス」を基軸とした介護における各種データの活用連携を進めるとともに、大手在宅医療グループで在宅医療の情報連携システムに「カナミッククラウドサービス」が採用されるなど、医療・介護それぞれにおいて実績を残しております。一方で、当社システムのプラットフォーム化の一環として、コンテンツサービスの充実、人材データベースマッチングサービスの稼働、サービス付き高齢者向け住宅におけるIoT連携など、他社との業務連携を進めてまいりました。

さらに、当社システムがプラットフォーム化に対応していくことに伴い取得される患者・要介護者等の情報をビッグデータとして解析し、国や自治体、保険会社等が必要としているエビデンスを見つけ出すAIサービス等の展開を通じて医療・介護分野における地域連携をさらに推進させ、患者・要介護者、全ての医療・介護事業者にソリューションを提供するための研究活動も実施しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高348,230千円（前年同期比58,053千円増、20.0%増）、営業利益102,241千円（同42,501千円増、71.1%増）、経常利益102,207千円（同42,636千円増、71.6%増）、四半期純利益67,586千円（同29,714千円増、78.5%増）となりました。

当社は、医療・介護分野における情報共有プラットフォームの構築を目的とする事業ならびにこれに付帯する業務の単一セグメント事業であるため、セグメント情報は記載しておりませんが、個別サービスごとの売上高は以下となります。

① カナミッククラウドサービス

カナミッククラウドサービスは、ストックビジネスをメインとしておりますので、既存顧客のストック部分をベースとし、継続的な新規顧客の獲得を続けた結果、売上高は310,916千円（前年同期比56,355千円増、22.1%増）となりました。

② コンテンツサービス

コンテンツサービスにつきましては、大手介護事業者からの依頼によるホームページ構築業務や公益財団法人介護労働安定センターを通じた介護事業社向けホームページの受託制作、運営・管理が安定した収益基盤となっており、また介護関連情報を提供するインターネット広告サービスも手がけることで、売上高は15,072千円（前年同期比1,919千円増、14.6%増）となりました。

③ その他サービス

その他サービスにつきましては、大口顧客向けカスタマイズ開発の受託などにより、売上高は22,240千円（前年同期比220千円減、1.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ46,269千円増加し、1,252,018千円となりました。これは、主にシステム開発の受託案件増加により仕掛品が13,742千円、カナミッククラウドサービスの機能強化や法改正対応に伴う開発によりソフトウェアが32,673千円それぞれ増加する一方で、売掛金が21,402千円、法人税等や配当金の支払いなどにより現金及び預金が61,474千円減少したことによるものであります。

(負債の状況)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ73,619千円減少し、268,552千円となりました。これは、主に法人税等の支払いに伴い未払法人税等が49,145千円減少した他、賞与引当金が13,000千円、長期借入金が4,002千円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ27,350千円増加し、983,465千円となりました。これは、主に四半期純利益の計上により利益剰余金が67,586千円増加する一方で、配当の実施により利益剰余金が40,109千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月14日に公表いたしました平成30年9月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	788,467	726,993
売掛金	96,425	75,022
仕掛品	7,745	21,488
その他	36,542	33,306
貸倒引当金	△1,524	△3,636
流動資産合計	927,655	853,174
固定資産		
有形固定資産	52,324	47,722
無形固定資産		
ソフトウェア	259,843	292,516
その他	76	76
無形固定資産合計	259,919	292,593
投資その他の資産		
その他	58,645	58,784
貸倒引当金	△256	△256
投資その他の資産合計	58,388	58,528
固定資産合計	370,632	398,844
資産合計	1,298,287	1,252,018
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,004	9,324
1年内返済予定の長期借入金	16,008	16,008
未払法人税等	80,628	31,483
賞与引当金	25,000	12,000
資産除去債務	16,000	16,000
その他	166,863	156,044
流動負債合計	310,504	240,860
固定負債		
長期借入金	19,970	15,968
資産除去債務	10,898	10,924
その他	800	800
固定負債合計	31,668	27,692
負債合計	342,172	268,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,060	192,060
資本剰余金	132,060	132,060
利益剰余金	632,210	659,687
自己株式	△214	△341
株主資本合計	956,115	983,465
純資産合計	956,115	983,465
負債純資産合計	1,298,287	1,252,018

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	290,176	348,230
売上原価	28,106	38,641
売上総利益	262,070	309,588
販売費及び一般管理費	202,330	207,347
営業利益	59,739	102,241
営業外費用		
支払利息	96	34
株式交付費	72	—
営業外費用合計	169	34
経常利益	59,570	102,207
税引前四半期純利益	59,570	102,207
法人税、住民税及び事業税	17,876	28,449
法人税等調整額	3,822	6,171
法人税等合計	21,698	34,620
四半期純利益	37,872	67,586

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、医療・介護分野における情報共有プラットフォームの構築を目的とする事業ならびにこれに付帯する業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。